

2008. 9. 17

米国政権交代期の朝鮮半島情勢 立教大学 石坂浩一

1) 核廃棄のための第二段階終結をめぐる状況

①第二段階終結をめぐる対立

- 6. 26 北朝鮮、中国に核計画申告書を提出
ブッシュ大統領、北朝鮮に対するテロ支援国家指定解除を議会に通告
8. 11以降、発効可能
- 7. 1 ヒル次官補、講演で「申告には徹底した検証が必要」
- 7. 4 北朝鮮外務省スポークスマン談話「経済補償義務が履行されていない」
- 7. 10～12 六者協議首席代表会合、検証の方向性は合意、無能力化は10月末までに完了
- 7. 23 シンガポールで六者外相非公式会談
- 7. 31 北京で李根（リ・グン）北朝鮮外務省米州局長と米国のソン・キム六者協議担当特使・朝鮮部長が会談
- 8. 6 米韓首脳会談の共同声明で北朝鮮の人権状況改善に初言及
- 8. 11 国務省、指定解除の見送りを確認～いつでも解除できる状態ではある
六者協議の合意には「検証」の必要性を明示してはいないが、「完全かつ正確な」申告がなされなければならないと書かれている
北朝鮮は首席代表会合で「第三段階の手前にひとつかふたつの段階が必要」と主張（キム・スク朝鮮半島平和交渉本部長）、米朝間協議の中で「検証に対し軽水炉の約束を求めたようす」（チョン・セヒョン元統一部長官）

②核無能力化作業中断

- 8. 13 ソン・キム、中国と検証要求案を検討、譲歩案再提示で一致
- 8. 18 朝鮮中央通信、指定解除の遅れを批判
- 8. 20 北朝鮮外務省スポークスマン、米韓軍事演習を批判し検証は不当と主張
- 8. 22 国務省のソン・キム朝鮮部長、ニューヨークチャンネルで北側と協議
- 8. 26 北朝鮮外務省スポークスマン、核無能力化作業中断を言明、14日にすでに中断は通告済み確認
8月段階ですでに無能力化は11作業中8作業が終了、残るは燃料棒引き出し、未使用燃料棒処理、原子炉駆動装置除去のみ。8割方の作業はスミ。ところが8月までに提供された重油は100万トンのうち43.5万
- 9. 2 北朝鮮、寧辺核施設の復旧着手を米国に通報、翌3日着手？
- 9. 5 日米韓の六者協議首席代表が北京で会合、6日には武大偉とも会談
米国の出した検証修正案をもって、中国が北朝鮮と調整すること、エネルギー経済支援は継続することを確認
- 9. 10 AP通信、西海岸トンチャンリに新たなミサイル基地発見と報道
- 9. 10 金永南（キム・ヨンナム）最高人民会議常任委員長、共同通信との会見で、「時間がかかっても方法を探し努力すれば六者協議の停滞も解決できる」

9. 10 ホワイトハウスのペリーノ報道官、金永南発言を受け「北が引き続き協力することを期待」「ブッシュ任期内目標は検証議定書を締結し非核化の基盤を作ること」
 国務省のマコーマック報道官「ポイントは金正日の健康ではなく六者協議の成果」

→米朝は第二段階完了の努力をやめていない
 10月末はひとつのリミット

2) 金正日国防委員長の重病説

9. 6 『朝鮮日報』、金正日国防委員長の健康悪化説報道
 9. 9 朝鮮中央テレビ、北朝鮮建国60周年記念閲兵式を録画放送、金正日委員長は姿を見せず
 9. 9 AP, AFP通信など、「脳卒中」などの重病説を報道
 9. 10 韓国の国家情報院、8月14日に金正日委員長は循環器系の病気が悪化した、手術を受け集中治療の結果、現在は回復の途上にあると国会国防委員会で報告
 9. 10 大統領府、首席秘書官会議と関係閣僚会議を開催
 9. 10 韓国大統領府関係者、発病後、それほどたたないうちに状況を把握していたと示唆
 9. 10 朴智元（パク・チウォン）議員「金正日委員長が健在であってこそ核や南北問題を進展させられる」
 9. 11 朴相熹（パク・サンヒ）国防部長官、国会国防委員会で北側に特に変化は見えない、金正日委員長は平壤の烽火診療所にいる可能性がある、などと報告
 9. 11 9月8日に平壤体育館で開催された建国慶祝中央報告大会で発表された祝賀文を通じ朝鮮労働党中央委員会、党中央軍事委員会、国防委員会、最高人民会議常任委員会、内閣の5大機関が「金正日同志に全面的に運命を任せる」と忠誠の誓約をしていたことが、韓国で注目される
 9. 11 8月24日に趙明禄（チョ・ミョンロク）国防委員会第一副委員長・朝鮮人民軍総政治局長、金英春（キム・ヨンチュン）国防委員会副委員長、金格式（キム・ギョクシク）軍総参謀長、金鎰喆（キム・イル Chol）人民武力部長・国防委員ら軍最高指導部が金正日委員長に対して忠誠を誓ったとの情報が国家情報院筋から出る
 9. 12 韓国政府高位関係者、金正日委員長は自分で歯磨きができる程度になっていると語る

このほか、9月9日に正規軍は閲兵式に出なかったが近くに待機していたとの情報も。

10月10日の朝鮮労働党創建記念日に登場するかどうか当面注目される

金正男（キムジョンナム）氏は帰国しているとの見方

まだ金正日委員長について確実な情報はない

3) 韓国政府と南北関係

①元正花（ウォン・ジョンファ）事件 国家情報院 8. 27 発表

脱北者の増加につれ政府の生活支援が追いつかず、脱北者たちが生活に苦心している現実の反映

「50回以上、軍で巡回講演」巡回公演は脱北者の生活手段

その機会を得るために軍人に接近せざるをえない

対北貿易のために民経連と接触 統一部の承認を得た合法的行為

南の人間は合法的にできることを脱北者ではできないのか

北に残る家族に送金・投資するのも普通にあること

「結婚相談所に登録し工作対象を探す」結婚相談所以外で結婚の可能性なし

9. 2 北朝鮮の祖国平和統一委員会、脱北者であることを認めつつ「スパイ」は否定

南北相互に工作員は存在するが、この事件は内実はないよう

一方では国内研究者・活動家を検挙した社労連事件、8. 27に7名全員が裁判所における逮捕令状棄却により釈放

李明博（イ・ミョンバク）政権の無理な弾圧政策

時代に逆行する強圧政策に憂慮広がる

②南北関係の途絶／通米封南

食糧支援の右往左往～李明博政権の政策変遷

北が求めればあげる→北、必要ない→トウモロコシ5万トンを提供→北、通文受け取り拒否→WFPが要請すれば提供→食糧事情は切迫していない

政策的に一貫性のなさ

5万トンは元来ノ・ムヒョン政権が水害被災支援として提供を約束

北としては新たにもらう意識はない

8. 25 韓中首脳会談

南北関係で両論併記 韓～非核平和3000を説明し共生・共栄主張、中～和解協力、究極的に平和統一を

↓

なぜこれまでの合意を認めないのか

6・15、10・4を再確認することから始めるしか信頼回復の方法はない

4) 米国・日本の政権交代局面と朝鮮半島政策

①米国の大統領候補と朝鮮半島政策

オバマ陣営 8. 25～ 民主党大会

非核化～核計画についての検証可能な終息を追求しこれまでに北朝鮮が生産した全ての核物質と兵器を完全に説明するようにさせる努力を支持

六者協議～朝鮮半島非核化に外交的努力を尽くす

韓米同盟～米国の指導力の再建を図る、アジア同盟諸国との関係を強化、ただしFTA（自由貿易協定）は留保

人権～キューバから北朝鮮に至るまで圧迫される人びとの人権を擁護

マケイン陣営 9. 1 共和党大会

北朝鮮の体制～国際秩序を脅かす、尋常ならざる (maniacal) 独裁国家
核問題～完全かつ検証可能で後戻りできない核の解体 (CVID)

韓米同盟～韓国は独裁国家と対峙する価値ある同盟国

マケイン候補は対北強硬路線、しかし執権すれば現実主義になるとの指摘

オバマは現在の米政権の路線に近いが人権問題はシビア

いずれにしても、少なくとも2009年前半は米国新政権は朝鮮半島問題に着手できないだろう～ブッシュ政権とできる限り合意を得るのが望ましい

②日本政府と対北朝鮮政策

8. 11～13 瀋陽で日朝実務者協議

合意事項は*拉致問題の全面的再調査

*権限を与えられた調査委員会

*調査状況について随時通報、協議し、今秋に終了

*再調査開始で i) 人的往来規制解除、ii) チャーター便規制解除

*船舶入港禁止、よど号はあらためて協議

8. 19 山崎拓氏、北京で北朝鮮関係者と接触

9. 1 福田首相辞任

9. 3 外務省、拉致問題再調査遅れると認める

9. 5 高村外相、北朝鮮から正式に、再調査を新政権発足まで延期すると伝えてきたことを公表

9. 11 宋日昊 (ソン・イルホ) 朝日交渉担当大使、共同通信と会見

新首相が8月合意を履行するかどうか不透明

③過去から学び持続可能な対北朝鮮政策を進める道

過去の政権の失敗から学ぶ

圧力の政策が拉致問題を含めて解決を導いたのか

日朝ピョンヤン宣言に基づく政策の一貫性の確立

歴史的責任 平和・友好の実現

拉致問題解決の内容についての政策議論

六者協議の内容を日本の立場から積極的に活用する道を探る

持続可能な朝鮮半島政策、北朝鮮政策を

政権が交代しても一貫性を持たせることで相互信頼を増進

国交正常化に向けた交渉の過程で拉致問題も含め日朝関係を好転させる青写真と

社会的合意形成を

日本が憲法第九条に基づく平和国家として東北アジアで生きていくために日朝正常化は必要であり、日本人のためにプラスになる